

令和6年度 大東小学校 学校目標達成ビジョン

教育目標 自ら考え、正しく判断し、実践力のある人間性豊かな児童を育成する

- すすんで学習する子ども〔知〕
- よく考え行動する子ども〔徳〕
- 健康でたくましい子ども〔体〕

学校課題

友達との関わりなどの社会性、表現力や活用能力、最後までやりぬく力の育成、主体性
体力・運動能力の向上、地域に対する興味・関心、実践力

【児童スローガ】

自分からできる事を考え、全力で取り組む 大東っ子

経営の重点： 笑顔、あいさつ、思いやりがあふれ、児童一人ひとりが「夢」「希望」をもち、努力を続けられる集団を育てる。

- 【基本方針】・教師が働きやすく、笑顔のあふれる学校が、子どもたちを笑顔にすると考え、笑顔を意識した授業を推進する。
- ・心理的安全性を高める4つの因子「話しやすさ」「助け合い」「挑戦」「新奇歓迎」のある職員集団をめざす。
 - ・大東小だからできる、大東小にしかできない教育を創っていく。(総合的な学習の時間、特設活動、JRC活動)
 - ・教師は、コーディネーターとして、児童の主体性を大切に教育活動を展開する。
 - ・夢とやりがいを持ち、コミュニケーションを大切にしながら全職員で協働し、組織的に取り組む。
 - ・教師一人一人の成長を大切に研修を位置付けていく。(学びつづける教師、組織)
 - ・働き方改革を進め、教育活動の充実を図っていく。
 - ・地域との関わりを大切に、地域に誇りを持ち、地域と関わり、地域を大切に、地域を担う人材を育てる。

めざす児童像

地域を愛し、これからの社会に必要な資質・能力を身に付け発揮し課題解決する子ども
(知識・技能、思考力・判断力・表現力、自己マネジメント力、協働する力、実践力)

◎話を分かって聴き、考え、表現する子ども

◎人と進んで関わり、気づき、考え、実行する子ども

◎自分の目標に向かって、体と心をきたえる子ども

今年度の重点事項

ねらい・ねらいを達成した子どもの姿・手立ての共有

〈主体的に学び合う授業づくり〉

■校内研修による日常的な授業改善

- 協同的な学びの実践の推進
 - ・ジャンプのある課題の提示と学習形態(ペア・4人グループ)の工夫
 - ・須賀川市教育アドバイザーの指導のもと、一人2回の研究授業の推進
 - ・対話による学び合いを高めるための「聴く」力の育成と深い学びのための振り返り
- ICT機器の有効活用
 - ・デジタル教科書の活用方法の研修
 - ・授業に活用できるインターネットサイトの研究とパソコンソフトの有効活用
 - ・一人一台のタブレットの積極的な活用
- 特別支援教育の充実
 - ・9年間と将来(自立)を見通した指導
 - ・通常学級に在籍する特別支援の児童への指導
 - ・特別支援教育支援員との連携
 - ・個別の指導計画の見直しと活用

■学びを支える基盤づくり

- 自己マネジメント力の育成(大東小家庭学習スタンダードの活用)
- 学習習慣・学習訓練の徹底
- 朝の読書の充実、読書の日常化・家読の推進、新聞の活用(司書の活用)

〈思いやりのある高めあう集団づくり〉

■学級力・学校力を高めることによる支持的風土の醸成

- 学級・学校をよりよいものにしていくために目標を共有し、目標に向かって実践できるようにするための指導
 - ・特別活動の充実(学活・児童会・行事)
 - ・自分たちの活動の振り返り・評価・改善
 - ・Q-Uテストの結果活用による学級づくり
 - ・いじめアンケートの有効活用
- キャリア教育の視点に立った指導
 - ・自己効力感を高めるための指導
 - ・気づき考え実行する指導(JRC活動当番活動、係活動、朝ボラ活動)
- あいさつ、そうじ、くつそろえ等の指導
- SDGsの推進
- 教育相談の充実
 - ・スクールカウンセラーと連携した教育相談の推進
 - ・日常的でタイムリーな教育相談の推進
- 考える道徳、議論する道徳への転換
 - 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることができる道徳の授業の実践
 - 道徳の日(水)の家庭との連携(ファイルの活用)
 - 地域を愛し地域への感謝をもてる指導
 - 情報モラル教育の推進

〈めあてをもって取り組み、目標を達成する体づくり〉

■一人一人が目標をもち努力できる仕組づくり(自己マネジメント力の育成)

- 日常的な体づくりの推進
 - ・全校業間運動の実施、外遊びの奨励(年間を通してのマラソン・縄跳び・外遊び)
 - ・運動身体づくりプログラムの効果的な実施
 - ・わくわくタイムの創設による水曜日の遊びの時間を増やす。
- 自己目標をもたせ、協働して高めあう授業づくり
- 望ましい健康習慣を身に付けるための自己マネジメント力の育成
 - ・食育・歯科指導・体力・運動能力向上
 - ・感染症・熱中症の予防
 - ・養護教諭・外部講師とのTTによる指導
 - ・日常的な運動(徒歩登校、業間マラソン)
- メディアコントロールによる判断力の育成(中学校と連携し、メディアコントロール週間の設置)
- 安全に行動できる力の育成
 - 安全のための思考力・判断力・行動力の育成(安全・防災・放射線教育、避難訓練)
 - 通学班による安全な登校と複数での下校
 - ・集中登校

カリキュラム・マネジメントの推進

- ・総合を核とし、横断的な視点で教育内容を関連づけ
- ・地域の「ひと・もの・こと」の活用
- ・PDCAサイクルでの教育課程の改善

家庭・地域・関係機関と協働・連携した取組

- ・学校目標達成ビジョン〈学校版〉による目標、手立て、評価の共有による共通実践
 - ・保護者・地域との情報共有(学校だより・ホームページ等)
 - ・こども園、小学校、中学校との連携(共通実践事項の実践)
- (あいさつ・大東道徳の日・メディアコントロールへの取り組み)

社会に開かれた教育課程の実現 いるさと教育の推進

- ・授業スタンダードチェックシート8割項目達成
- ・自己マネジメント力向上のための家庭学習ファイル活用 90%
- ・家庭で毎日読書 80%
- ・ワークテスト90以上8割

- ・あいさつができる。90%
- ・学級、友達が好きな児童90%(学・評)
- ・学級活動、児童会活動で計画を立てて話し合い
- ・清掃や当番・係活動、委員会を進んで行う。

- ・う歯治療率90%
- ・各種自己目標の達成90%(体力・健康)
- ・安全な徒歩での登校90%
- ・事故ゼロ

【改善・充実のために・・・】・教職員人事評価制度の活用 ・学校評価の充実 ・新体力テスト・全国学テ・県学調・学力テストの活用

第7次福島県総合教育計画 ⇒ 県中教育事務所 学校教育指導の重点 「夢」や「願い」がかなう教育の推進
⇒須賀川市の重点「ともに学び ともに育ち ともに生きる 未来へつなぐ人づくり」